

|                                       |                                                                                         |                                                                    |
|---------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 麻酔科専門医研修プログラム名                        | 一宮西病院 麻酔科専門医研修プログラム                                                                     |                                                                    |
| 連絡先                                   | TEL                                                                                     | 0586-48-0077                                                       |
|                                       | FAX                                                                                     | 0586-48-0050                                                       |
|                                       | e-mail                                                                                  | <a href="mailto:h-tsubouchi@anzu.or.jp">h-tsubouchi@anzu.or.jp</a> |
|                                       | 担当者名                                                                                    | 坪内 宏樹                                                              |
| プログラム責任者 氏名                           | 塚原 郁夫                                                                                   |                                                                    |
| 研修プログラム 病院群<br>*病院群に所属する全施設名をご記入ください。 | 責任基幹施設                                                                                  | 一宮西病院                                                              |
|                                       | 基幹研修施設                                                                                  | なし                                                                 |
|                                       | 関連研修施設                                                                                  | なし                                                                 |
| プログラムの概要と特徴                           | 社会医療法人杏嶺会一宮西病院の定めた麻酔科専門医研修プログラムに沿って、麻酔科指導医・専門医7名の指導下で、到達目標を達成するための研修を提供する。              |                                                                    |
| プログラムの運営方針                            | 研修の4年間をすべて一宮西病院にて行う。研修内容や進行状況に応じて、プログラムに所属する専攻医が経験目標に必要な特殊麻酔症例を平等に達成できるよう、ローテーションを構築する。 |                                                                    |

## 2016年度 一宮西病院 麻酔科専門医研修プログラム

### 1. プログラムの概要と特徴

責任基幹施設である社会医療法人杏嶺会一宮西病院において、専攻医が整備指針に定められた麻酔科研修カリキュラムの到達目標を達成できる教育を提供し、十分な知識と技術を備えた麻酔科専門医を育成する。

### 2. プログラムの運営方針

- 研修の4年間は、すべて責任基幹施設である一宮西病院にて研修を行う。
- 研修内容・進行状況に配慮して、プログラムに所属する全ての専攻医が経験目標に必要な特殊麻酔症例数を達成できるように、ローテーションを構築する。

### 3. 研修施設の指導體制と前年度麻酔科管理症例数

#### 1) 責任基幹施設

社会医療法人杏嶺会一宮西病院（以下、一宮西病院）

プログラム責任者：塚原郁夫

指導医：塚原郁夫

坪内宏樹

高橋伸二

専門医：石川恭

橋本慎介

野手英明

川出健嗣

麻酔科認定病院番号：1246

麻酔科管理症例2526症例

|                           | 症例数   |
|---------------------------|-------|
| 小児（6歳未満）の麻酔               | 62症例  |
| 帝王切開術の麻酔                  | 72症例  |
| 心臓血管手術の麻酔<br>（胸部大動脈手術を含む） | 78症例  |
| 胸部外科手術の麻酔                 | 124症例 |
| 脳神経外科手術の麻酔                | 66症例  |

## 2) 基幹研修施設・関連研修施設

現時点でなし。但し、当院の研修プログラムに変更が必要となった場合は、他の研修プログラムの関連研修施設として参加する場合がある。

本プログラムにおける前年度症例合計

麻酔科管理症例：2526症例

|                           | 合計症例数 |
|---------------------------|-------|
| 小児（6歳未満）の麻酔               | 62症例  |
| 帝王切開術の麻酔                  | 72症例  |
| 心臓血管手術の麻酔<br>（胸部大動脈手術を含む） | 78症例  |
| 胸部外科手術の麻酔                 | 124症例 |
| 脳神経外科手術の麻酔                | 66症例  |

## 4. 募集定員

2名

## 5. プログラム責任者 問い合わせ先

社会医療法人杏嶺会 一宮西病院

塚原 郁夫

愛知県一宮市開明字平1番地

TEL 0586-48-0077

## 6. 本プログラムの研修カリキュラム到達目標

### ①一般目標

個々の症例に応じた最適な麻酔法を、安全性のみならずアメニティにも配慮した方法で選択し、かつ（術前）・術中・術後管理を安全に実践できるようになる。そのために、麻酔管理を通して、生命危機管理医学の考え方を理解し、呼吸・循環、輸液・電解質をはじめとする全身管理に必要な知識と技術を習得する。具体的には下記の4つの資質を修得する。

1) 十分な麻酔科領域、および麻酔科関連領域の専門知識と技量

- 2) 刻々と変わる臨床現場における、適切な臨床的判断能力，問題解決能力
- 3) 医の倫理に配慮し，診療を行う上での適切な態度，習慣
- 4) 常に進歩する医療・医学を則して，生涯を通じて研鑽を継続する向上心

## ②個別目標

### 目標1 基本知識

麻酔科診療に必要な下記知識を習得し，臨床応用できる．具体的には公益法人日本麻酔科学会の定める「麻酔科医のための教育ガイドライン」の中の学習ガイドラインに準拠する．

#### 1) 総論：

- a) 麻酔科医の役割と社会的な意義，医学や麻酔の歴史について理解している．
  - b) 麻酔の安全と質の向上：麻酔の合併症発生率，リスクの種類，安全指針，医療の質向上に向けた活動などについて理解している．手術室の安全管理，環境整備について理解し，実践できる．
- 2) 生理学：下記の臓器の生理・病態生理，機能，評価・検査，麻酔の影響などについて理解している．

- a) 自律神経系
- b) 中枢神経系
- c) 神経筋接合部
- d) 呼吸
- e) 循環
- f) 肝臓
- g) 腎臓
- h) 酸塩基平衡，電解質
- i) 栄養

3) 薬理学：薬力学，薬物動態を理解している．特に下記の麻酔関連薬物について作用機序，代謝，臨床上的効用と影響について理解している．

- a) 吸入麻酔薬
- b) 静脈麻酔薬
- c) オピオイド
- d) 筋弛緩薬
- e) 局所麻酔薬

4) 麻酔管理総論：麻酔に必要な知識を持ち，実践できる

- a) 術前評価：麻酔のリスクを増す患者因子の評価，術前に必要な検査，術前に行うべき合併症対策について理解している。
- b) 麻酔器，モニター：麻酔器・麻酔回路の構造，点検方法，トラブルシューティング，モニター機器の原理，適応，モニターによる生体機能の評価，について理解し，実践ができる。
- c) 気道管理：気道の解剖，評価，様々な気道管理の方法，困難症例への対応などを理解し，実践できる。
- d) 輸液・輸血療法：種類，適応，保存，合併症，緊急時対応などについて理解し，実践ができる。
- e) 脊髄くも膜下麻酔，硬膜外麻酔：適応，禁忌，関連する部所の解剖，手順，作用機序，合併症について理解し，実践ができる
- f) 神経ブロック：適応，禁忌，関連する部所の解剖，手順，作用機序，合併症について理解し，実践ができる。

5) 麻酔管理各論：下記のような科の手術に対する麻酔方法について，それぞれの特性と留意すべきことを理解し，実践ができる。

- a) 腹部外科
- b) 腹腔鏡下手術
- c) 胸部外科
- d) 成人心臓手術
- e) 血管外科
- f) 小児外科
- g) 小児心臓外科
- h) 高齢者の手術
- i) 脳神経外科
- j) 整形外科
- k) 外傷患者
- l) 泌尿器科
- m) 産婦人科
- n) 眼科
- o) 耳鼻咽喉科
- p) レーザー手術
- q) 手術室以外での麻酔

6) 術後管理：術後回復とその評価，術後の合併症とその対応に関して理解し，実践で

きる。

7) 集中治療：成人・小児を問わず、緊急のライフサポートが適切に施行でき、集中治療が必要な患者に対し、時を待たずICUに収容させ、高度な集中治療（滴定治療）を行うことができるようになるために、生体危機管理医学としての救急・集中治療の意義を十分に理解し、重要臓器不全に対する各種人工補助療法を含む知識と技術を習得する。また、中央部門の医師として、各部門との連携を円滑に運営できる能力を養う。

8) 救急医療：救急医療の代表的な病態とその評価，治療について理解し，実践できる。それぞれの患者にあった蘇生法を理解し，実践できる。AHA-ACLS，またはAHA-PALSプロバイダーコースを受講し，プロバイダーカードを取得している。

9) ペイン：周術期の急性痛・慢性痛の機序，治療について理解し，実践できる。

## 目標2 診療技術

麻酔科診療に必要な下記基本手技に習熟し，臨床応用できる。具体的には日本麻酔科学会の定める「麻酔科医のための教育ガイドライン」の中の基本手技ガイドラインに準拠する。

1) 基本手技ガイドラインにある下記のそれぞれの基本手技について，定められたコース目標に到達している。

- a) 血管確保・血液採取
- b) 気道管理
- c) モニタリング
- d) 治療手技
- e) 心肺蘇生法
- f) 麻酔器点検および使用
- g) 脊髄くも膜下麻酔
- h) 鎮痛法および鎮静薬
- i) 感染予防

## 目標3 マネジメント

麻酔科専門医として必要な臨床現場での役割を実践することで，患者の命を助けることができる。

1) 周術期などの予期せぬ緊急事象に対して，適切に対処できる技術，判断能力を持っている。

2) 医療チームのリーダーとして，他科の医師，他職種を巻き込み，統率力をもって，

周術期の刻々と変化する事象に対応をすることができる。

#### 目標4 医療倫理, 医療安全

医師として診療を行う上で, 医の倫理に基づいた適切な態度と習慣を身につける。医療安全についての理解を深める。

- 1) 指導担当する医師とともにon the job training環境の中で, 協調して麻酔科診療を行うことができる。
- 2) 他科の医師, コメディカルなどと協力・協働して, チーム医療を実践することができる。
- 3) 麻酔科診療において, 適切な態度で患者に接し, 麻酔方法や周術期合併症をわかりやすく説明し, インフォームドコンセントを得ることができる。
- 4) 初期研修医や他の医師, コメディカル, 実習中の学生などに対し, 適切な態度で接しながら, 麻酔科診療の教育をすることができる。

#### 目標5 生涯教育

医療・医学の進歩に則して, 生涯を通じて自己の能力を研鑽する向上心を醸成する。

- 1) 学習ガイドラインの中の麻酔における研究計画と統計学の項目に準拠して, EBM, 統計, 研究計画などについて理解している。
- 2) 院内のカンファレンスや抄読会, 外部のセミナーやカンファレンスなどに出席し, 積極的に討論に参加できる。
- 3) 学術集会や学術出版物に, 症例報告や研究成果の発表をすることができる。
- 4) 臨床上の疑問に関して, 指導医に尋ねることはもとより, 自ら文献・資料などを用いて問題解決を行うことができる。

### ③経験目標

研修期間中に手術麻酔, 集中治療の十分な臨床経験を積む。通常の全身麻酔・硬膜外麻酔・脊髄くも膜下麻酔・神経ブロックの症例経験に加え, 下記の所定の件数の特殊麻酔を担当医として経験する。ただし, 帝王切開手術, 胸部外科手術, 脳神経外科手術に関しては, 一症例の担当医は1人, 小児と心臓血管手術については一症例の担当医は2人までとする。

- |              |      |
|--------------|------|
| ・小児(6歳未満)の麻酔 | 25症例 |
| ・帝王切開術の麻酔    | 10症例 |

- ・心臓血管外科の麻酔 25症例  
（胸部大動脈手術を含む）
- ・胸部外科手術の麻酔 25症例
- ・脳神経外科手術の麻酔 25症例

#### 7. 到達目標と評価項目

各施設における研修カリキュラムに沿って、各参加施設において、それぞれの専攻医に対し年次毎の指導を行い、その結果を別表の到達目標評価表を用いて到達目標の達成度を評価する。